

2023年3月期 第2四半期累計期間 決算説明資料

NOK 株式会社（東証プライム 7240）
2022年11月10日



》》 注意事項

- ◆ 本資料に記載された、NOK株式会社およびグループ各社の計画、見通し、方針、戦略、意見などのうち、歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた内容に基づいて作成しております。実際の業績に影響を与え得る要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、市況、為替の動向など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。そのため、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ◆ 本資料に掲載されたコンテンツの正確性については、万全を期しておりますが、その内容に関してはいかなる保証もするものではなく、万一、これにより貴方に損害が生じても一切責任を負いかねます。また、本資料の著作権は、NOK株式会社に帰属しており、無断転載・複製することとはご遠慮ください。

(予定)		
1	オリエンテーション (事務局)	17 : 00～
2	2023年3月期 第2四半期累計期間 決算実績 ならびに 2023年3月期 決算見通し 配当について 中期経営計画／リバイバル2カ年計画／トピックス (代表取締役 社長執行役員 鶴 正雄)	17 : 00～17 : 10
3	2023年3月期 第2四半期累計期間 セグメント別決算実績 2023年3月期 セグメント別決算見通し 業種別・所在地別事業概況 (取締役 専務執行役員 渡邊 哲)	17 : 10～17 : 30
4	質疑応答	17 : 30～18 : 00

—お願い—

1. 質問はWEB配信システム上のチャットにて随時お受けいたします。
2. 時間の都合上、全ての質問にお答えできかねる場合がございます。

決算概要



》 2023年3月期 第2四半期累計期間における当社グループの事業動向

当社グループの事業動向

シール 事業

自動車向けは、第1四半期連結会計期間における中国のロックダウン、半導体等の部品不足の影響があったものの、為替変動や原材料価格の高騰に伴う売価転嫁の影響が大きく、販売は増加。一般産業機械向けは、建設機械向けにおいて中国のロックダウンの影響があったものの、国内の工作機械・ロボット向け等の需要は堅調に推移。また、為替変動や原材料価格の高騰に伴う売価転嫁の影響により、販売は増加。営業利益は、原材料価格の高騰等により減益。

電子部品 事業

中国のロックダウン、半導体等の部品不足の影響があったものの、自動車向け、高機能スマートフォン向けの需要は増加。ハードディスクドライブ向けの需要は減少。全体を通して為替変動の影響が大きく、販売は増加。営業損失は、人件費の削減、為替の影響により損失幅が改善。

その他 事業

特殊潤滑剤の需要は減少したものの、事務機向け製品の需要の回復、および為替変動による増収の影響が大きく、販売が増加。営業利益は、増収により増益。

2023年3月期 第2四半期累計期間 決算実績

2023年3月期 第2四半期は円安による為替の影響が大きく増収となりましたが、原材料価格・エネルギー価格の高騰等により減益となりました。

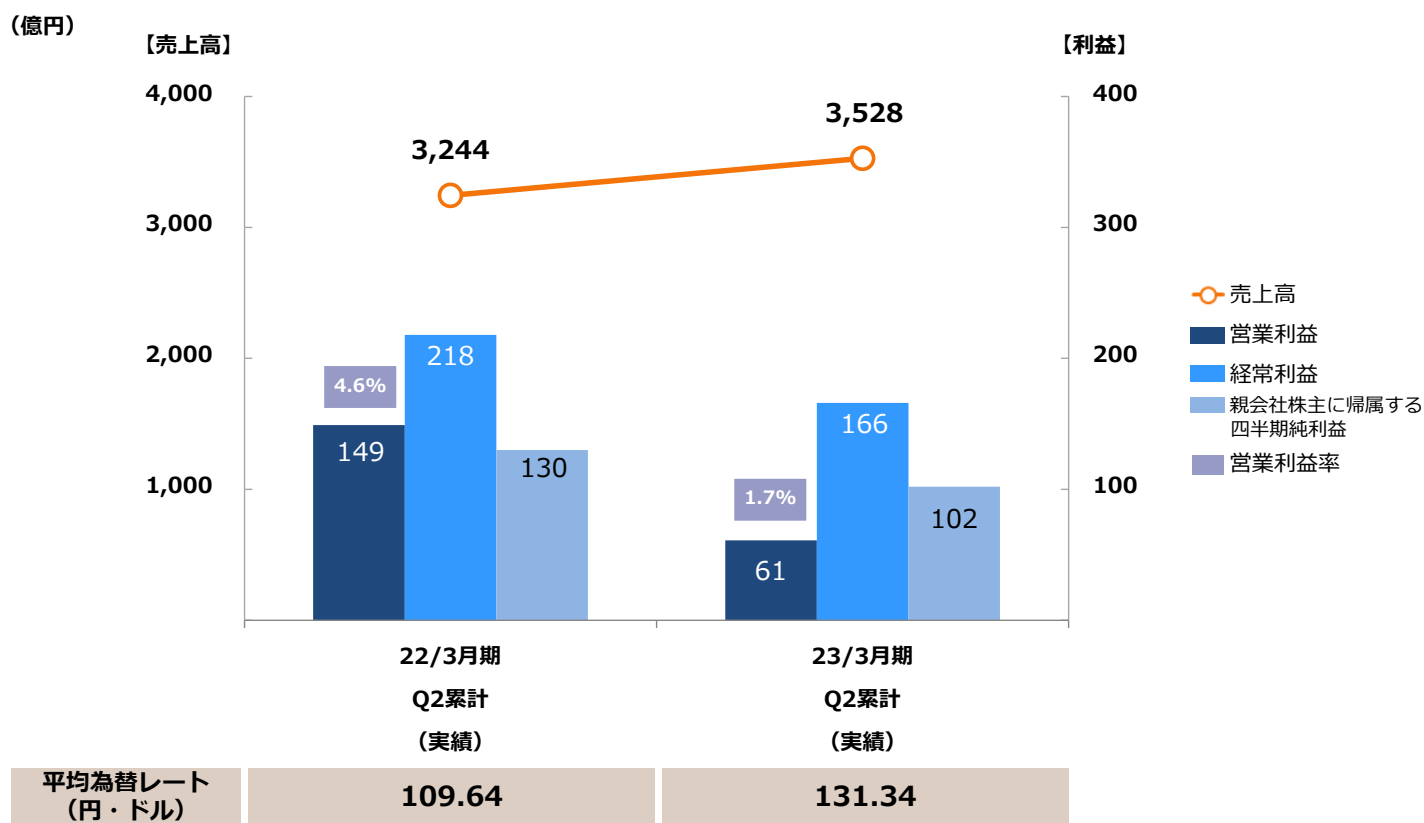
(億円)	22/3月期 実績 Q2累計	23/3月期 実績 Q2累計	前期対比 増減	
			金額	率
売上高	3,244	3,528	284	8.8%
営業利益	149	61	△ 88	△58.9%
経常利益	218	166	△ 53	△24.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	102	△ 28	△21.7%
営業利益率	4.6%	1.7%	△2.8pt	-
設備投資額	173	228	55	-
減価償却費	210	227	17	-
平均為替レート (円/ドル)	109.64	131.34	-	-
従業員数 (人)	37,835	38,546	711	-



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

7

2023年3月期 第2四半期累計期間 決算実績



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

8

2023年3月期 決算見通し

2023年3月期通期の見通しについては、為替影響等により増収となりますが、原材料価格・エネルギー価格の高騰等により減益となる見込みです。

(億円)	22/3月期			23/3月期			前年同期比増減					
	実績			実績 上期	10/25付 修正見通し		上期		下期		通期	
	上期	下期	通期		下期	通期	金額	率	金額	率	金額	率
売上高	3,244	3,581	6,825	3,528	4,041	7,569	284	8.8%	460	12.8%	744	10.9%
営業利益	149	165	313	61	172	233	△ 88	△58.9%	7	4.3%	△ 80	△25.6%
経常利益	218	243	462	166	214	379	△ 53	△24.1%	△ 30	△12.3%	△ 83	△17.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	128	258	102	125	227	△ 28	△21.7%	△ 3	△2.2%	△ 31	△12.1%
営業利益率	4.6%	4.6%	4.6%	1.7%	4.3%	3.1%	△2.8pt	-	△0.3pt	-	△1.5pt	-
設備投資額	173	237	410	228	342	571	55	-	106	-	160	-
減価償却費	210	216	426	227	241	468	17	-	25	-	42	-
平均為替レート (円/ドル)	109.64	114.00	111.82	131.34	135.00	133.17	-	-	-	-	-	-
従業員数(人)	37,835	37,613	37,613	38,546	38,733	38,733	711	-	1,120	-	1,120	-

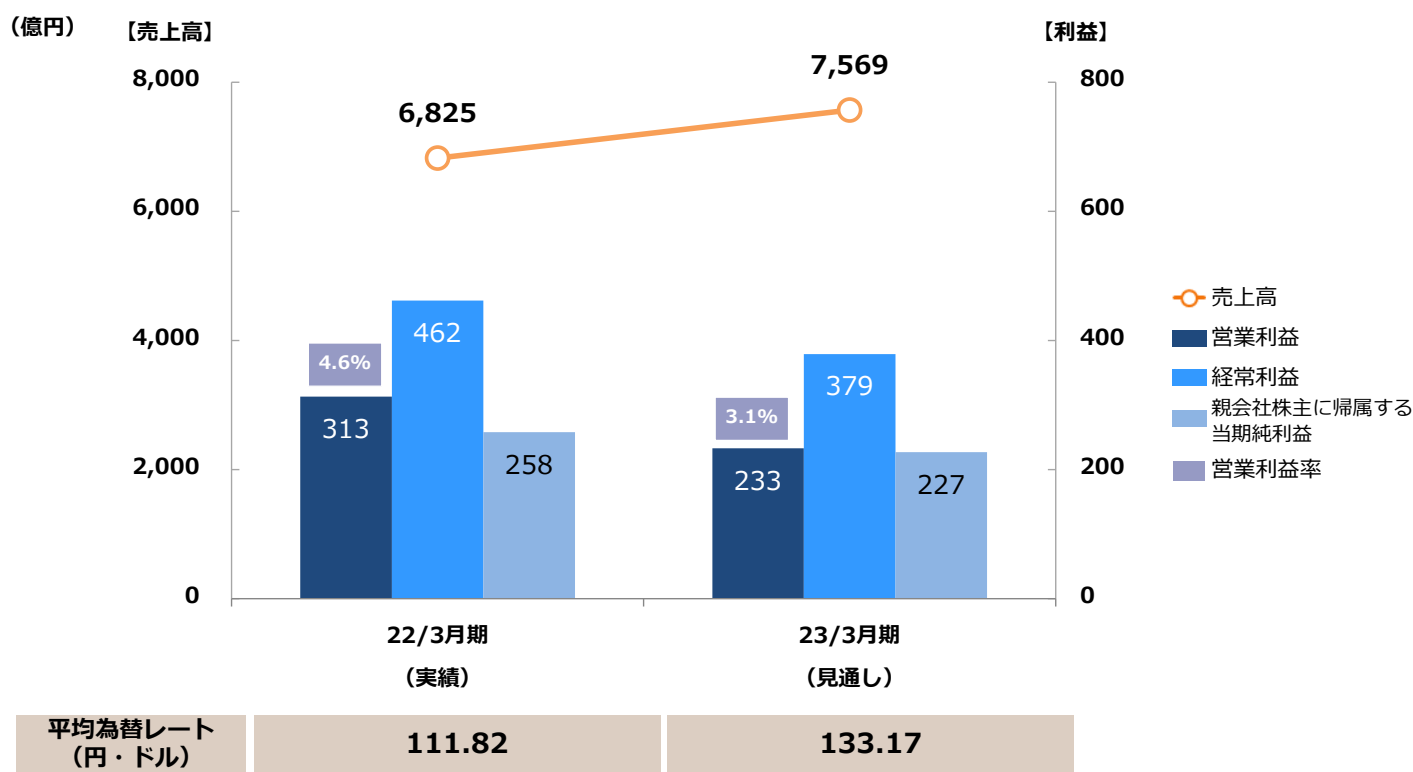
※「下期（見通し）」は、通期見通しから上期実績を引いたものです



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

9

2023年3月期 決算見通し



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

10

2022年3月期

中間

期末

配当

25 円

35 円

※普通配当 25円 + 記念配当 10円

配当性向

33.3%

40.2%

2023年3月期

中間

期末
(予定)

配当

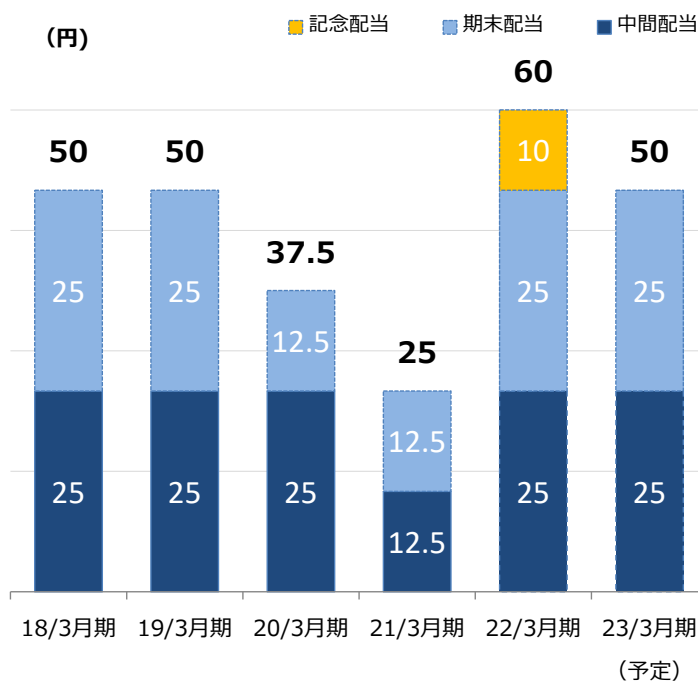
25 円

25 円

配当性向

42.4%

38.0%



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画



3カ年計画（2021年3月期～2023年3月期）

スローガン

『変化への柔軟な対応と“持続性ある企業”への再挑戦』

方針

1. 特定顧客依存からの脱却 - 拡販と新事業の創出による拡大均衡
2. 品質の原点回帰
3. 実効性あるBCMの運用
4. 競争力向上、収益改善に繋がる業務のデジタル化推進
5. 人間尊重経営の実践 - 活力に溢れた人づくり、柔軟・多様な働き方の導入



13

リバイバル2カ年計画

2022年3月期、2023年3月期を対象とした「リバイバル2カ年計画」を推進しています。また、“あるべき姿”として企業の総合的収益力を表すRoA(総資産純利益率)を体質強化指標として導入し、5%以上を維持できる体質を目指します。

(億円)	22/3月期			23/3月期		
	目標値	実績	増減	目標値	10/25付 修正見通し	増減
売上高	6,240	6,825	585	6,400	7,569	1,169
営業利益	225	313	88	330	233	△ 97
経常利益	272	462	190	380	379	△ 1
親会社株主に帰属する 当期純利益	144	258	114	220	227	7
営業利益率	3.6%	4.6%	1.0pt	5.2%	3.1%	△ 2.1pt
自己資本比率	58.5%	58.6%	0.0pt	58.9%	59.4%	0.5pt
ROA	1.6%	3.1%	1.5pt	2.6%	2.7%	0.1pt
ROE	2.8%	5.4%	2.6pt	4.5%	4.6%	0.1pt



14

TCFD提言に基づく情報開示



TCFD提言への賛同

近年の世界的な脱炭素化の流れを受け、NOKグループは2022年4月に、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同を表明しました。2030年に向けた環境ビジョン「NOK Twin Green Plan 2030」の下、気候変動に関する取り組みを進めておりますが、より一層の取り組み強化を図る考えです。今後はTCFDの提言に基づき、事業活動へのリスクや機会を把握し、事業戦略に反映させていくとともに積極的な情報開示に努めます。

目標

NOKグループでは、気候変動への対策としてNOK Twin Green Plan 2030を策定し、CO2排出量削減と次世代エコ技術の開発を進めてまいりました。今回、TCFDのシナリオ分析結果を基に、当初設定したCO2排出量削減目標を見直しました。2050年カーボンニュートラル達成を目指し、気候変動への取り組みを進めていくとともに、随時目標の見直しを検討していきます。

【目標】

- 2050年 カーボンニュートラル達成を目指す
- 2030年 NOK連結国内 CO2排出量50%削減（2018年対比）
 NOK連結海外 CO2排出量原単位30%削減（2018年対比）



2023年3月期 第2四半期累計期間 セグメント別決算実績



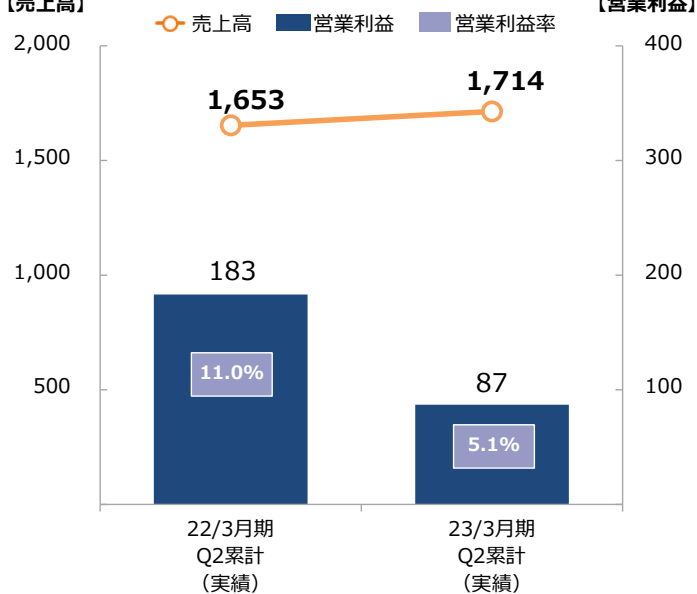
》》 2023年3月期 第2四半期累計期間 セグメント別決算実績

(億円)		22/3月期 実績 Q2累計	23/3月期 実績 Q2累計	前年同期比 増減	
				金額	率
シール事業	売上高	1,653	1,714	61	3.7%
	営業利益	183	87	△ 95	△52.3%
電子部品事業	売上高	1,461	1,666	205	14.0%
	営業利益	△ 40	△ 34	6	-
その他事業	売上高	129	147	18	13.9%
	営業利益	6	8	2	36.7%
合計	売上高	3,244	3,528	284	8.8%
	営業利益	149	61	△ 88	△58.9%

シール事業の決算実績【前年同期比】

(億円)

【売上高】



23/3月期 第2四半期累計 実績

売上高 1,714億円 (前年同期比 +61億円)

- 中国のロックダウン、半導体供給不足による減産影響
- 為替変動による増収影響
- 原材料価格の売価転嫁

営業利益 87億円 (前年同期比 △95億円)

- 原材料価格の売価転嫁
- 原材料価格の高騰等

設備投資	85	96
減価償却	118	122
従業員数	21,080人	21,114人

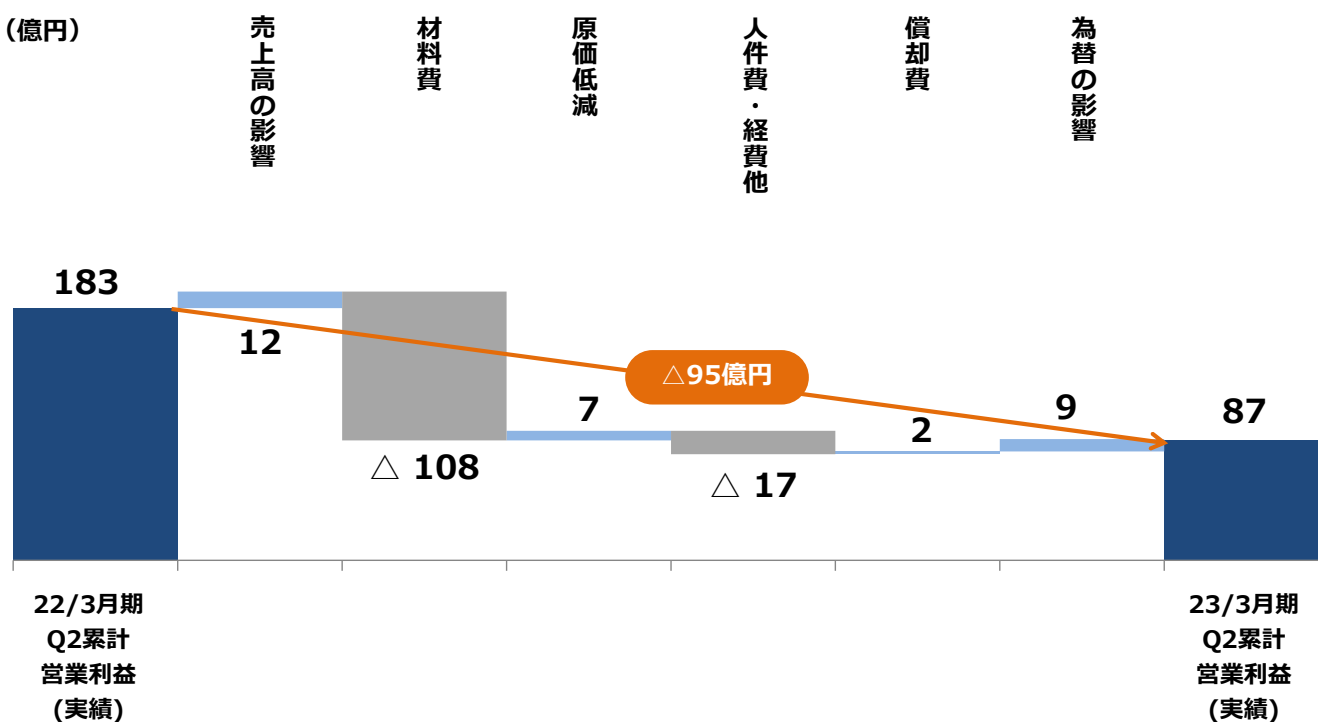


Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

19

シール事業：営業利益増減分析【前年同期比】

(億円)



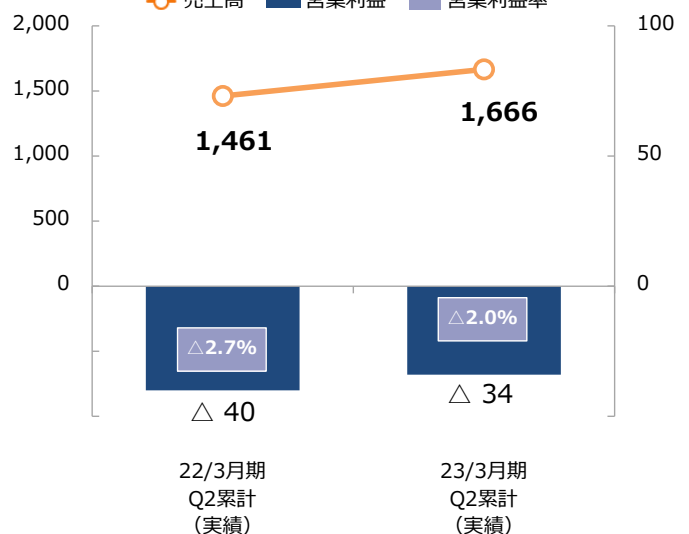
Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

20

電子部品事業の決算実績【前年同期比】

(億円)

【売上高】



23/3月期 第2四半期累計 実績

売上高 1,666億円 (前年同期比 +205億円)

- ハードディスクドライブ向けの需要減
- 自動車向け、高機能スマートフォン向けの需要増
- 為替変動による増収影響

営業利益 △34億円 (前年同期比 +6億円)

- 品目構成の悪化
- 人件費の削減
- 為替の影響

設備投資	83	122
減価償却	87	100
従業員数	14,754人	15,373人

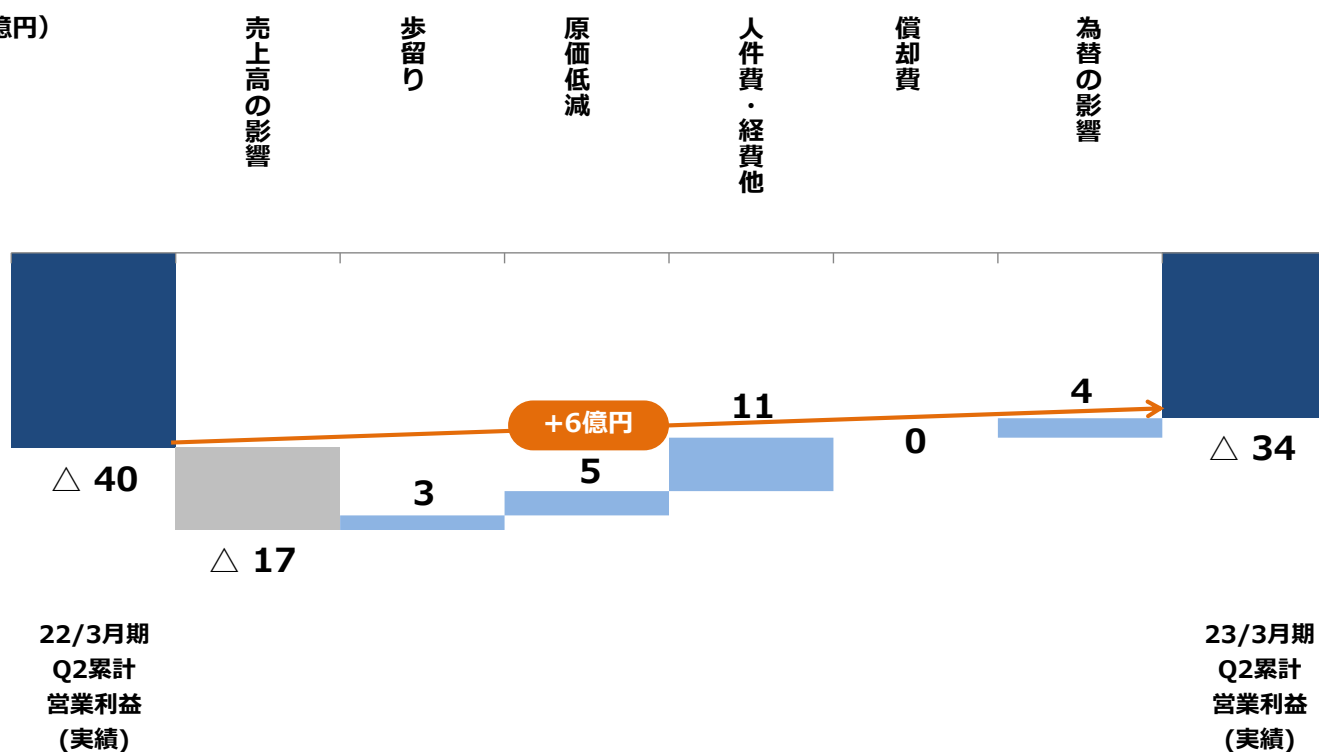


Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

21

電子部品事業：営業利益増減分析【前年同期比】

(億円)



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

22

2023年3月期 セグメント別決算見通し

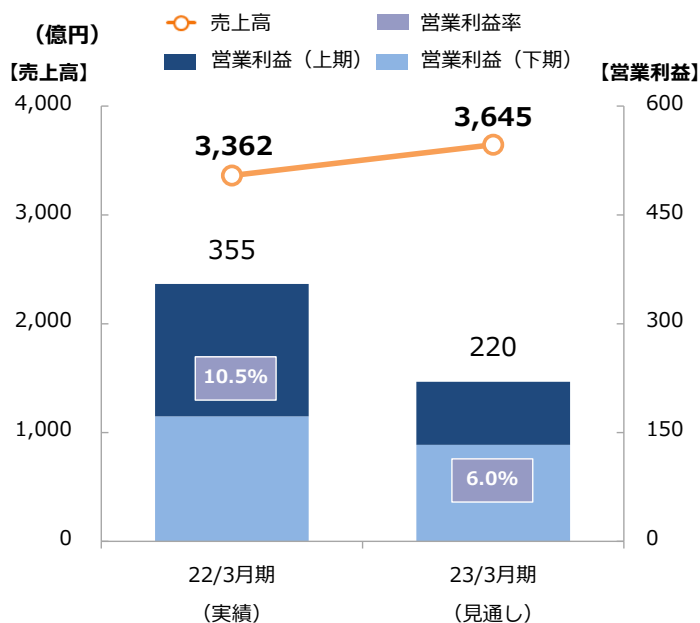


2023年3月期 セグメント別 決算見通し

(億円)		22/3月期			23/3月期			前年同期比増減					
		実績			実績 上期	10/25付 修正見通し		上期		下期		通期	
		上期	下期	通期		下期	通期	金額	率	金額	率	金額	率
シール事業	売上高	1,653	1,708	3,362	1,714	1,931	3,645	61	3.7%	223	13.0%	284	8.4%
	営業利益	183	172	355	87	133	220	△ 95	△52.3%	△ 40	△23.1%	△ 135	△38.1%
電子部品事業	売上高	1,461	1,748	3,209	1,666	1,958	3,624	205	14.0%	209	12.0%	414	12.9%
	営業利益	△ 40	△ 10	△ 50	△ 34	34	0	6	-	45	-	50	-
その他事業	売上高	129	124	254	147	153	300	18	13.9%	28	22.6%	46	18.1%
	営業利益	6	3	9	8	5	13	2	36.7%	2	74.1%	4	49.0%
合計	売上高	3,244	3,581	6,825	3,528	4,041	7,569	284	8.8%	460	12.8%	744	10.9%
	営業利益	149	165	313	61	172	233	△ 88	△58.9%	7	4.3%	△ 80	△25.6%

※「下期（見通し）」は、通期見通しから上期実績を引いたものです

シール事業：決算見通し【前期対比】



23/3月期 通期 見通し

売上高 3,645億円 (前期比 +284億円)

- 為替変動による増収影響
- 原材料価格の売価転嫁

営業利益 220億円 (前期比 △135億円)

- 原材料価格の売価転嫁
- 原材料価格・エネルギー価格の高騰
- 経費の増加

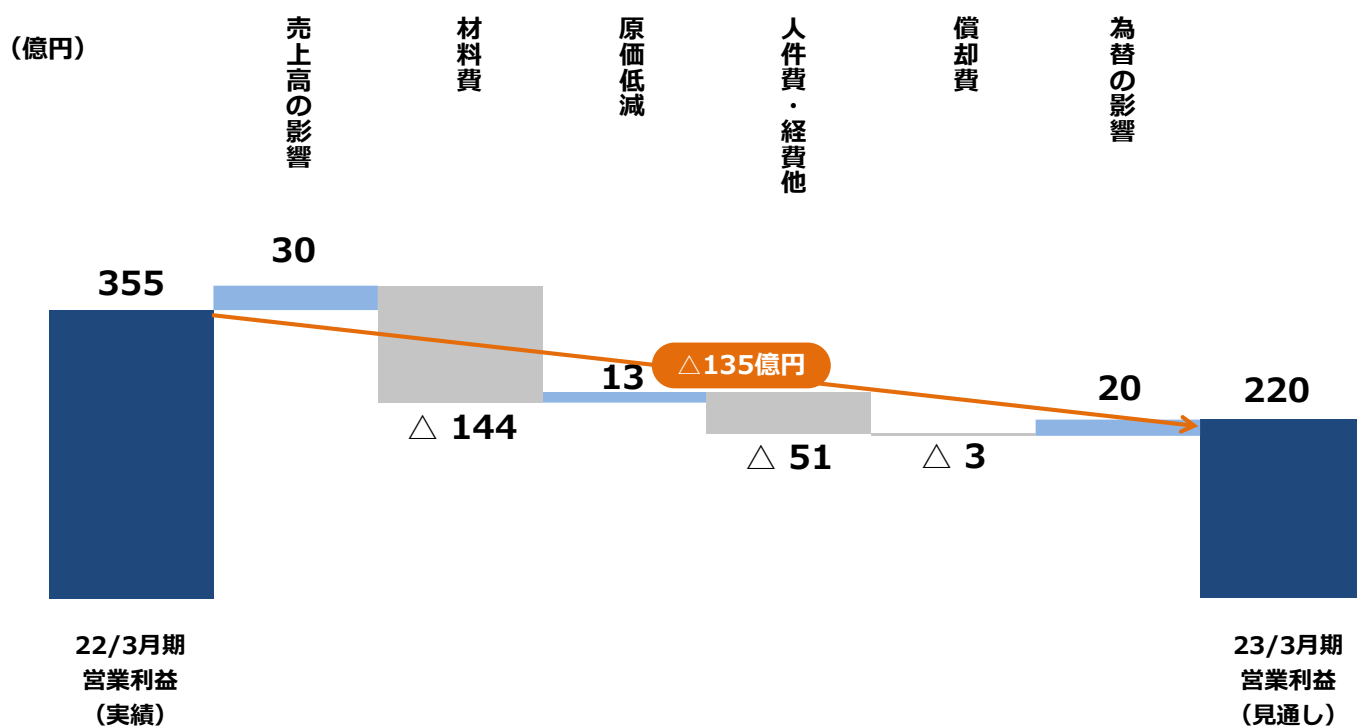
設備投資	193	248
減価償却	236	251
従業員数	20,996人	21,422人



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

25

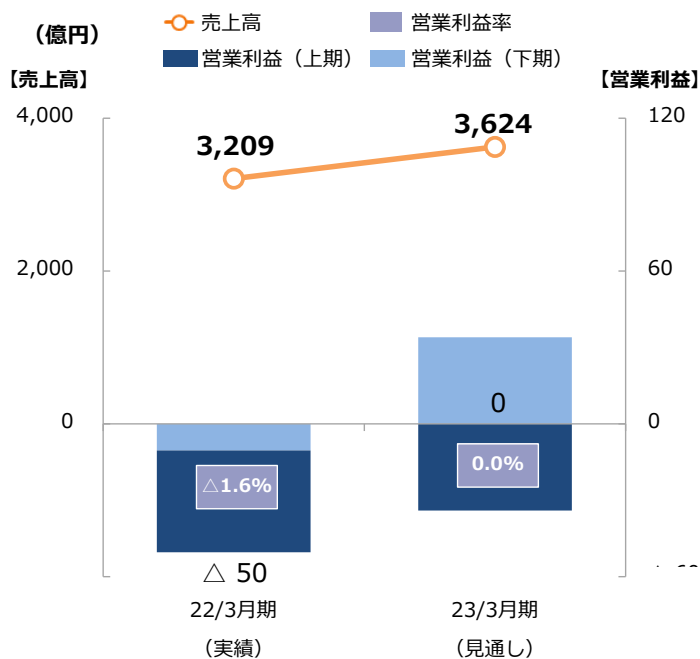
シール事業：営業利益増減分析【前期対比】



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

26

電子部品事業：決算見通し【前期対比】



23/3月期 通期 見通し

売上高 3,624億円 (前期比 +414億円)

- 自動車向け、高機能スマートフォン向けの需要が増加
- 為替変動による増収影響

営業利益 0億円 (前期比 +50億円)

- 人件費の抑制
- 増収の効果

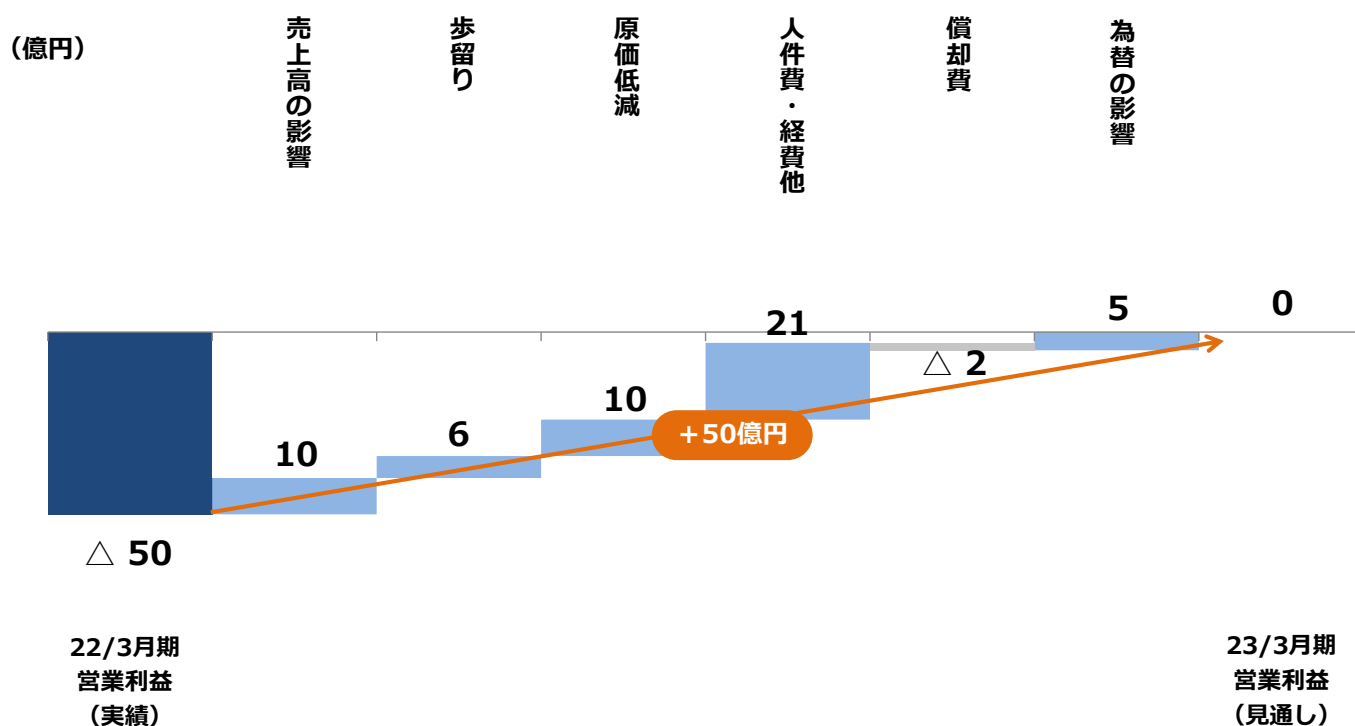
設備投資	204	300
減価償却	180	206
従業員数	14,548人	15,226人



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

27

電子部品事業：営業利益増減分析【前期対比】



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

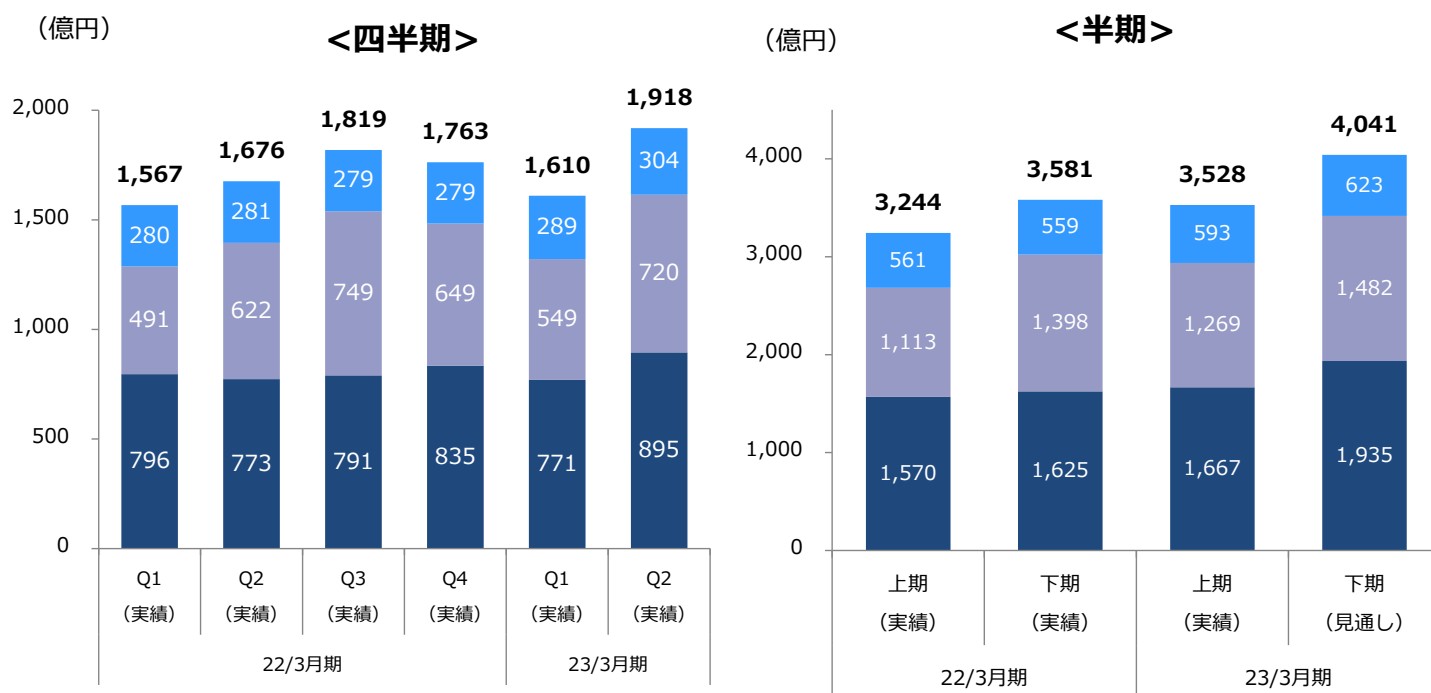
28

業種別・所在地別事業概況



業種別：連結売上高推移

■ 自動車 (AI) ■ 電子機器 (EI) ■ 一般産業機器 (GI)

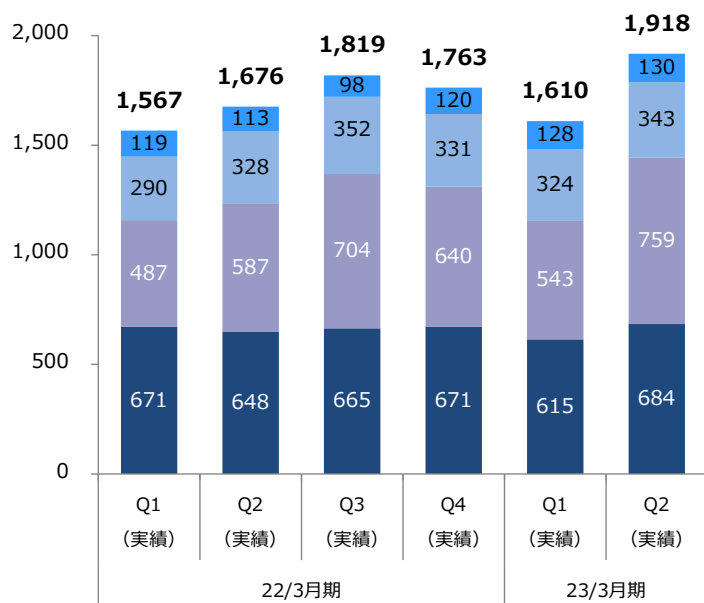


所在地別：連結売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他

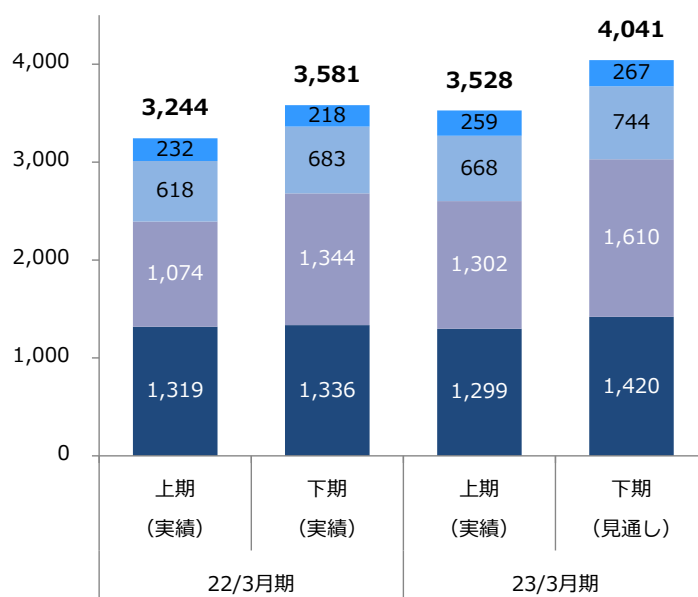
(億円)

<四半期>



(億円)

<半期>



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

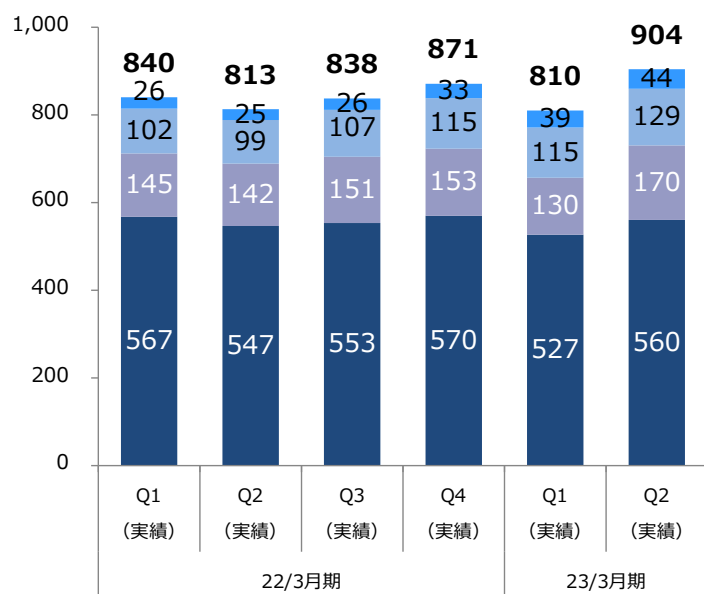
31

所在地別：シール事業売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他

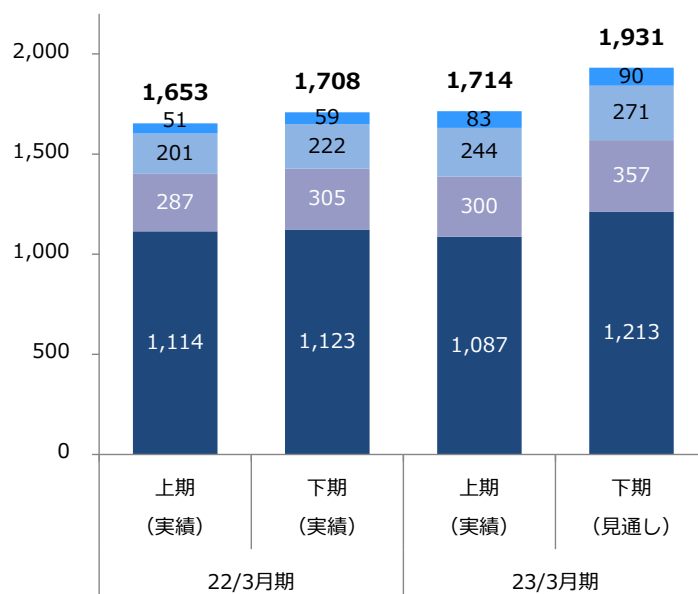
(億円)

<四半期>



(億円)

<半期>

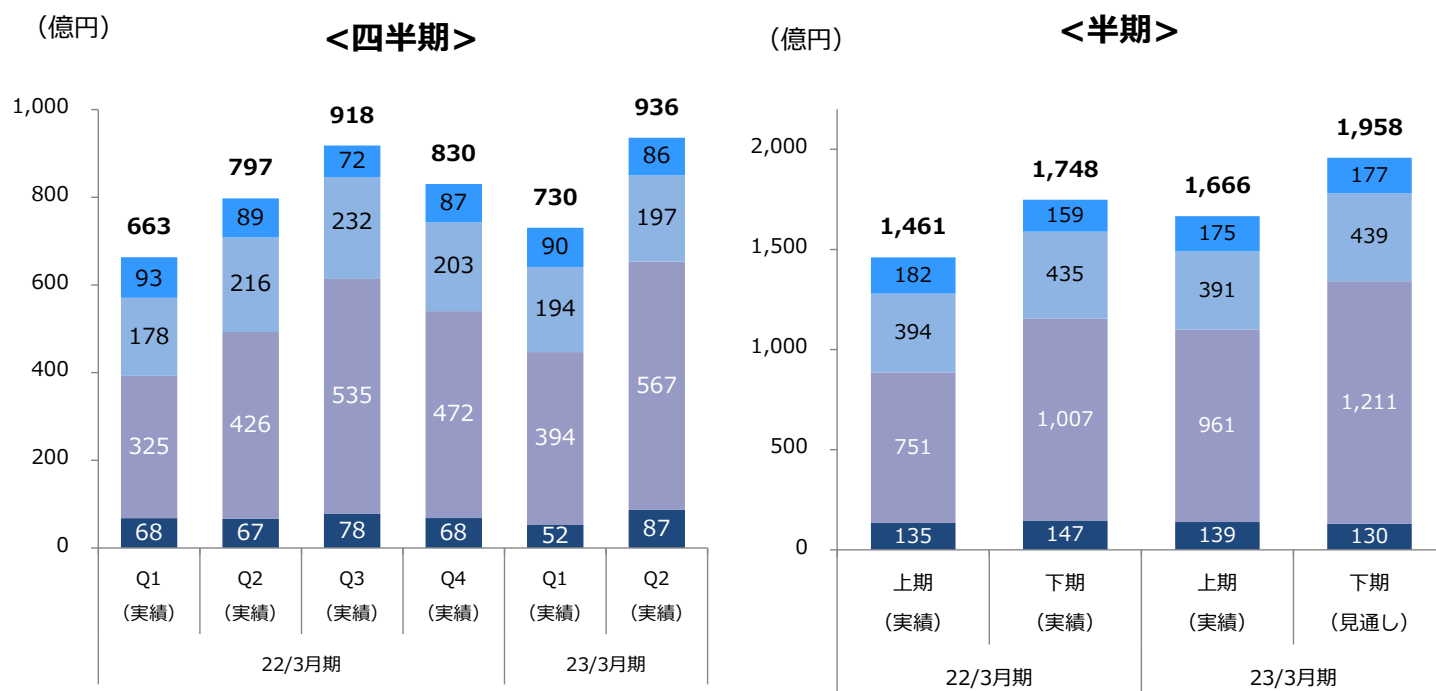


Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

32

所在地別：電子部品事業売上高推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ その他

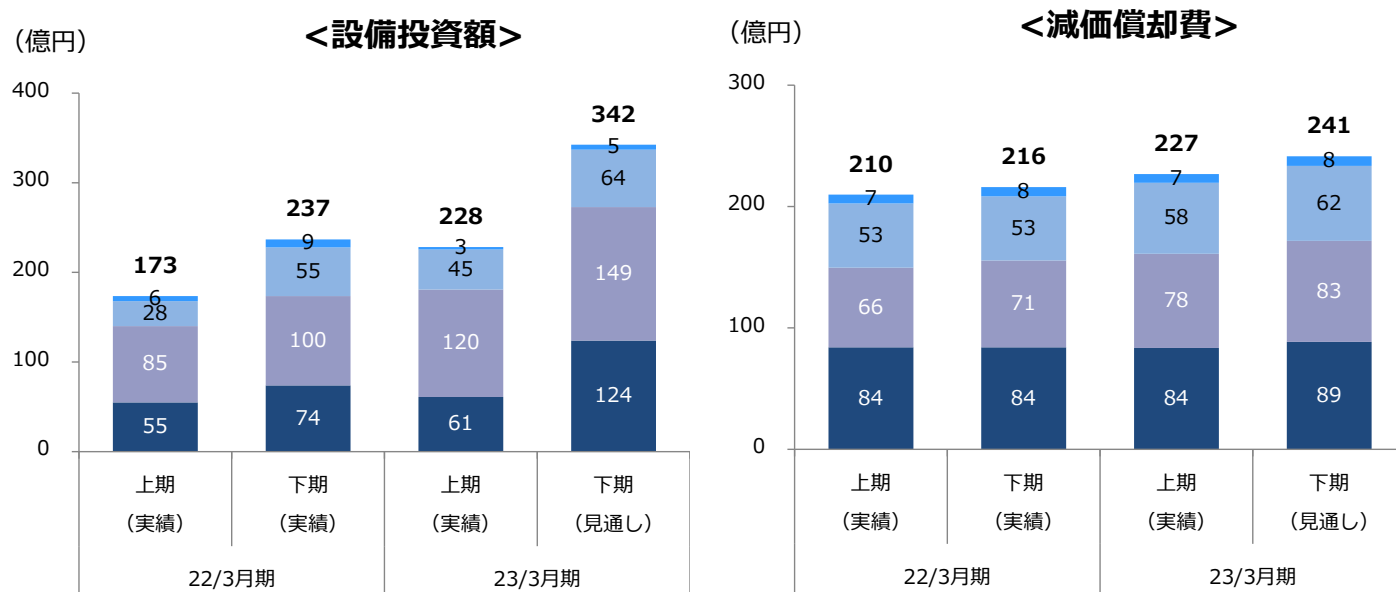


Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

33

所在地別：設備投資額および減価償却費推移

■ 日本 ■ 中国 ■ 他アジア ■ 欧米



※「下期（見通し）」は、通期見通しから上期見通しを引いたものです

※ 設備投資には無形固定資産の取得を含んでいます



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

34

参考資料

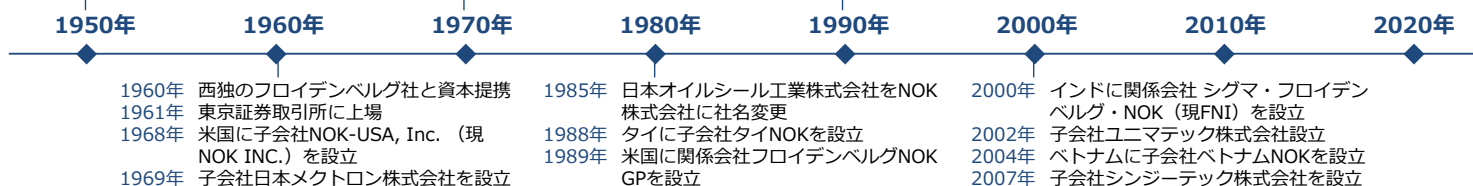


沿革

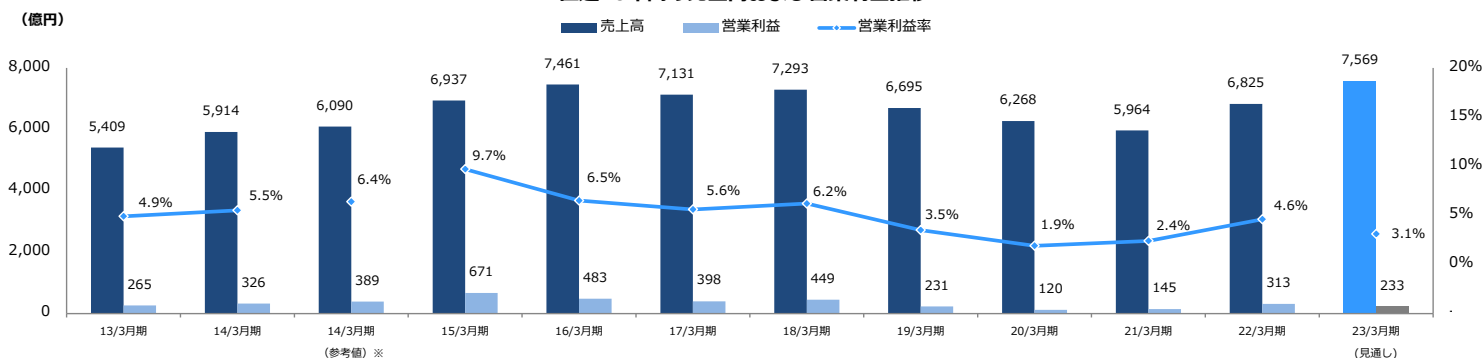
1939年 江戸川精機株式会社設立
1941年 神戸に日本ベアリング製造株式会社を設立
1951年 東京オイルシール工業株式会社と日本油止工業株式会社が合併し、日本オイルシール工業株式会社に社名変更

1976年 子会社NOKクリューバー株式会社を設立
1978年 韓国の平和オイルシール工業株式会社に資本参加

1995年 中国に子会社無錫恩福油封有限公司を設立
1996年 インドネシアに子会社NOKインドネシア、シンガポールに子会社NOKアジアを設立



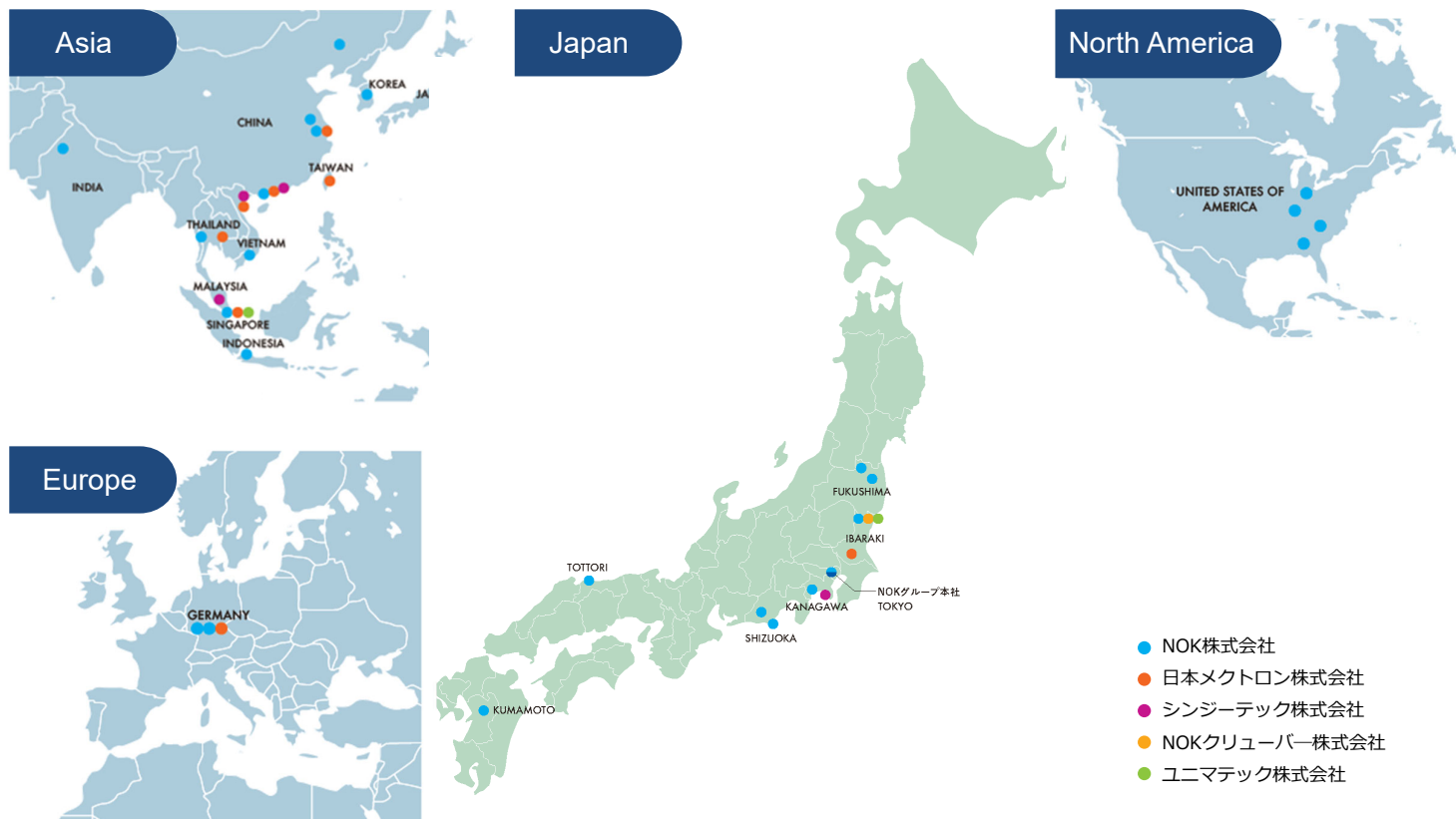
直近10年間の売上高および営業利益推移



※15/3月期より、海外事業の決算期統一及び減価償却方法を変更したため、参考値として使用しております



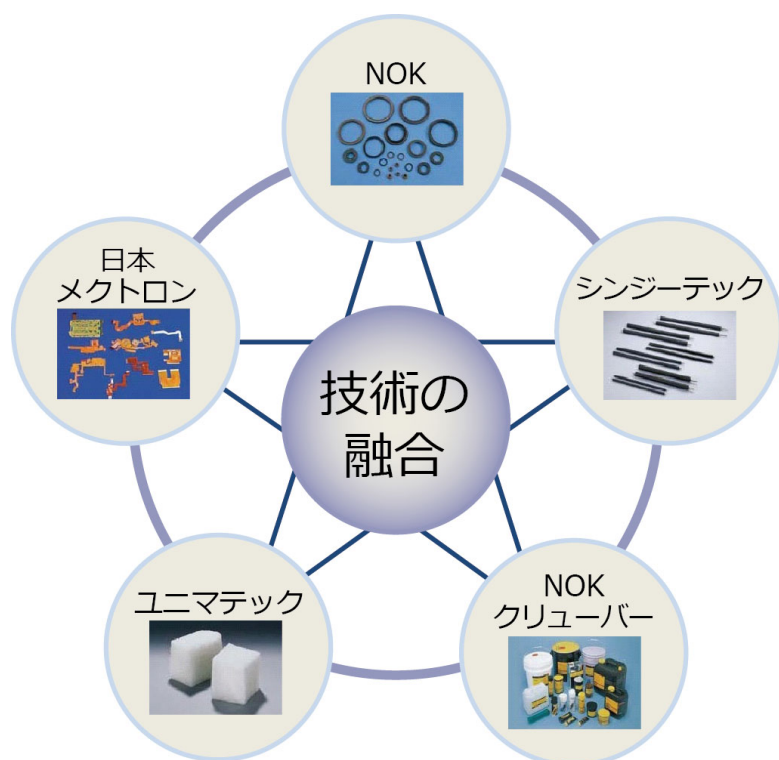
》》 主要なグループ生産拠点



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

37

》》 NOKグループの強み

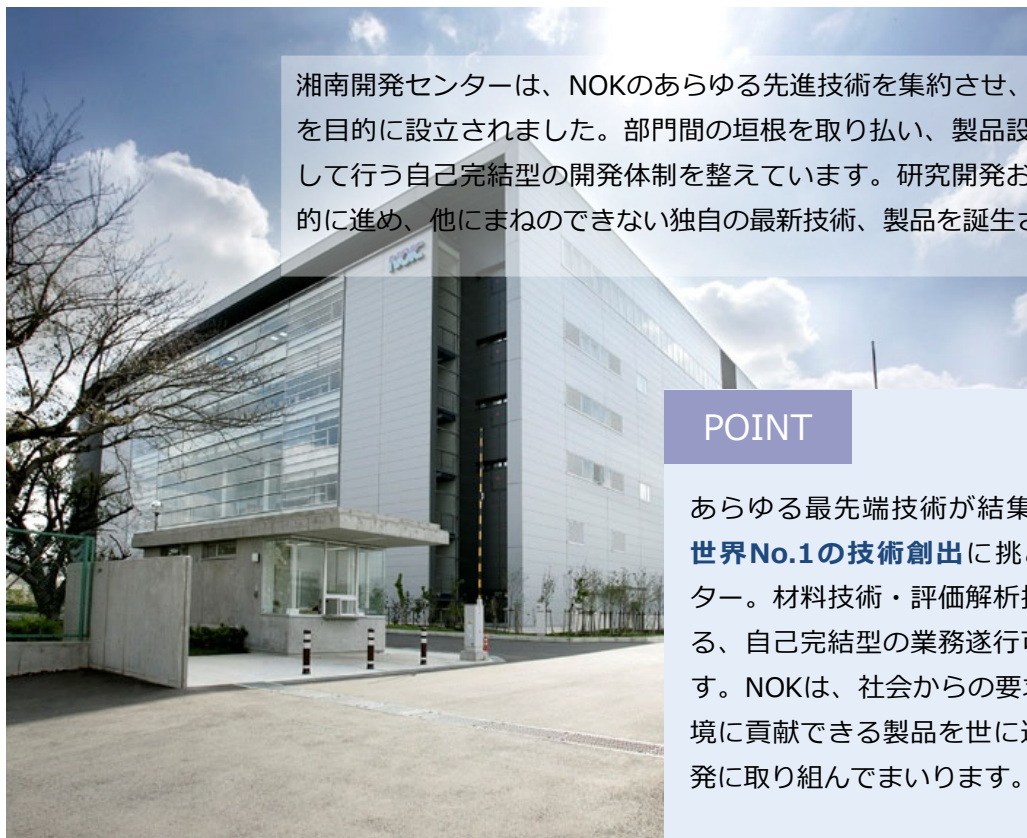


NOKグループ各社は、コア技術が融合しあう企業集団として、一企業の各部門の関係のような《複合技術メーカーグループ》を形成しています。それぞれが個性と誇りをもって同じ夢に向かい、あらゆるニーズに応える事業を展開しています。



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

38



湘南開発センターは、NOKのあらゆる先端技術を集約させ、開発スピードを上げることを目的に設立されました。部門間の垣根を取り払い、製品設計から出品検査までを一貫して行う自己完結型の開発体制を整えています。研究開発および生産技術の融合を積極的に進め、他にまねのできない独自の最新技術、製品を誕生させています。

POINT

あらゆる最先端技術が集結した「頭脳」拠点となり、**世界No.1の技術創出**に挑み続けるNOK湘南開発センター。材料技術・評価解析技術、生産技術の機能を有する、自己完結型の業務遂行可能なセンターとなっています。NOKは、社会からの要求に応え、生活の利便性や環境に貢献できる製品を世に送り出すため、更なる技術開発に取り組んでまいります。



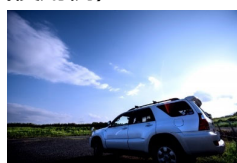
Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

39



オイルシールとは、オイル（油）をシールする（封じる）機能部品です。回転や上下動など、機械の“動く”部分において、潤滑油をはじめ、水、薬液、ガスなどが漏れるのを防ぐと同時に、外部からのほこりなどの侵入を防ぐ働きをしています。車、船、飛行機、エアコン、洗濯機、水道などに使用され、幅広い機械類で不可欠な部品になっています。

(使用例)



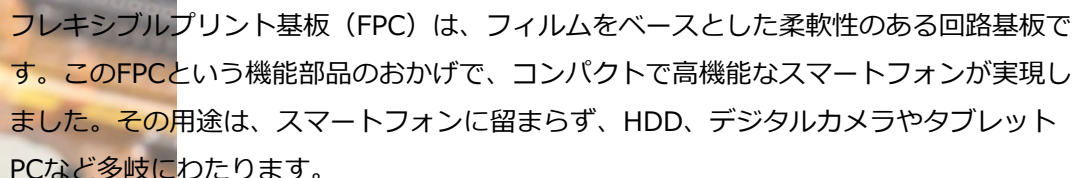
POINT

NOKの歴史はオイルシールの歴史です。日本でNo.1のオイルシールメーカーへの発展の礎は、1960年、西ドイツ(当時)のカール・フロイデンベルグ社との技術提携に始まります。その後、日本の自動車メーカー1社のみが進出しているだけの時代に、いち早くアメリカに生産工場を置き、BIG3(ビッグ3)にオイルシールを供給するに至りました。今日、信用と実績を認められ、**国内70%、世界トップシェア**を誇ります。

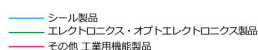


Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

40



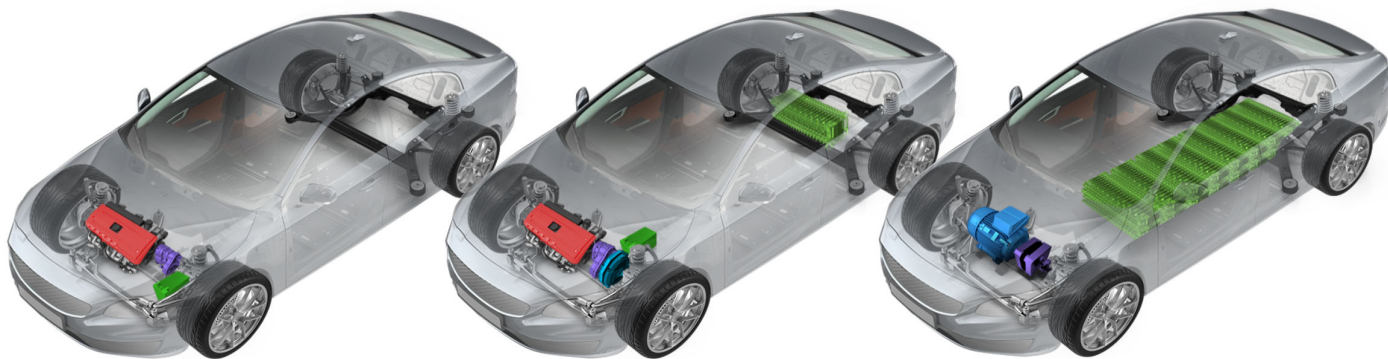
POINT NOKのグループ会社である、日本メクトロンのエレクトロニクス事業です。薄く、柔軟性のあるこの回路基板が、スマートフォンなどに使われています。薄く、軽く、柔軟性があるという特性をもつフレキシブルプリント基板は、今後ますます機能の向上が期待されています。**国内シェア、世界シェアともにトップクラス**です。



次世代自動車への採用

POINT

ハイブリッド、電気自動車等の次世代自動車にも弊社製品の採用が進んでおります。



ハイブリッド自動車

- エンジン用シール
- モーター用シール
- バッテリー用シール
- 自動車用FPC

プラグインハイブリッド自動車

- エンジン用シール
- モーター用シール
- バッテリー用シール
- 充電器用シール
- 自動車用FPC

電気自動車

- モーター用シール
- 自動車用FPC
- バッテリー用シール
- 減速機用シール
- 充電器用シール



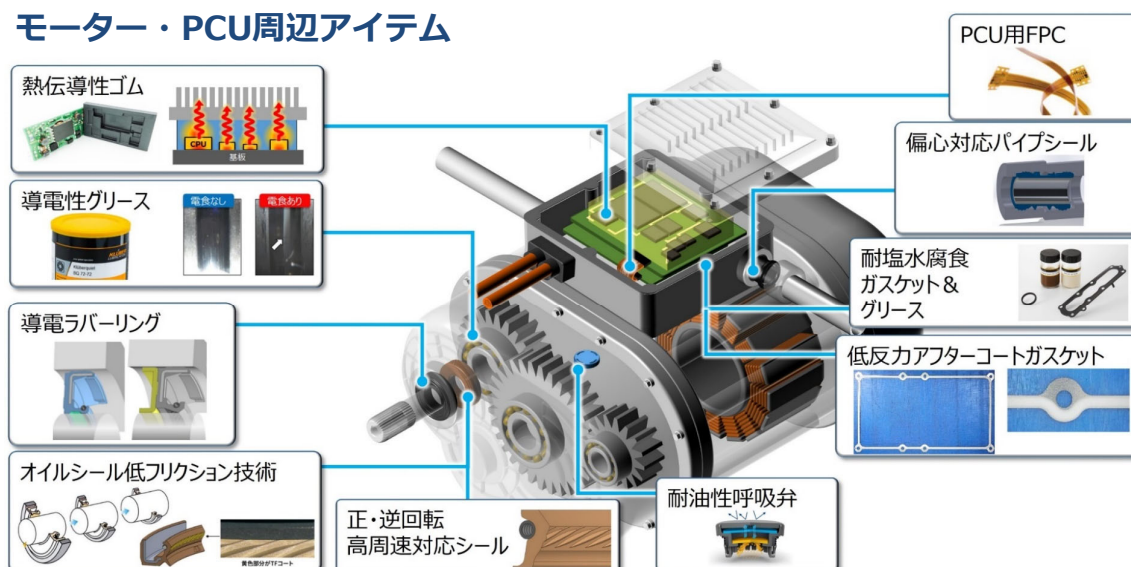
43

電動車に使われるNOK製品

POINT

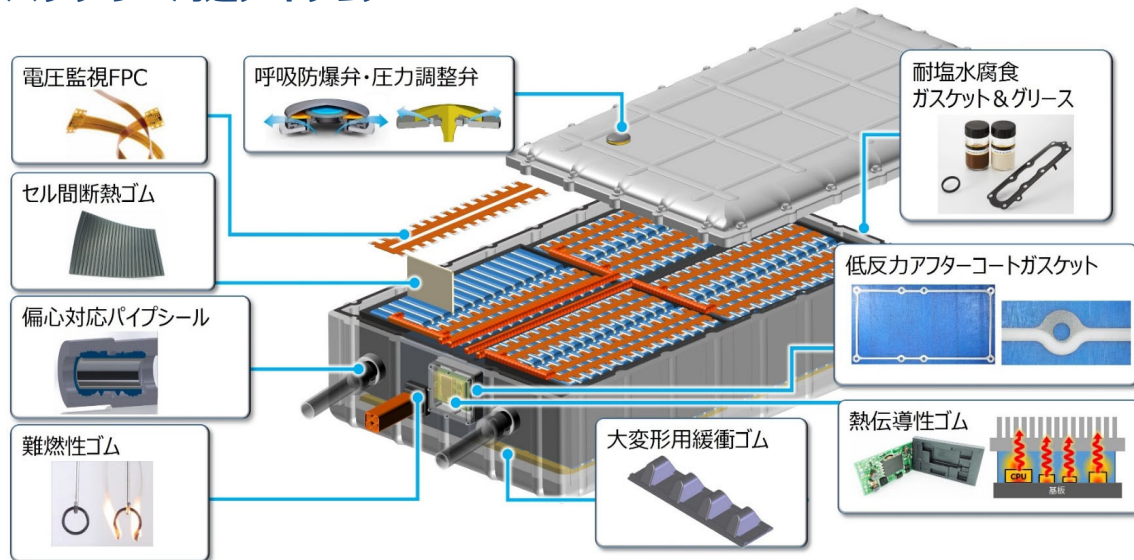
世界的なカーボンニュートラルへの取組みに対し、自動車産業は環境にやさしいe-Mobilityへ向かって進んでいます。NOKでも100年に一度といわれる変革期をビジネスチャンスと捉え、環境に貢献する製品開発を進めております。電気自動車（BEV）を始めたとしたe-Mobilityには、既存のシール製品の需要が見込めることに加え、新たに搭載される蓄電池／駆動モーター／制御装置等において、開発製品をお客様に採用いただくことで、環境問題の解決に貢献しながら販売拡大を図ってまいります。

モーター・PCU周辺アイテム



44

バッテリー周辺アイテム

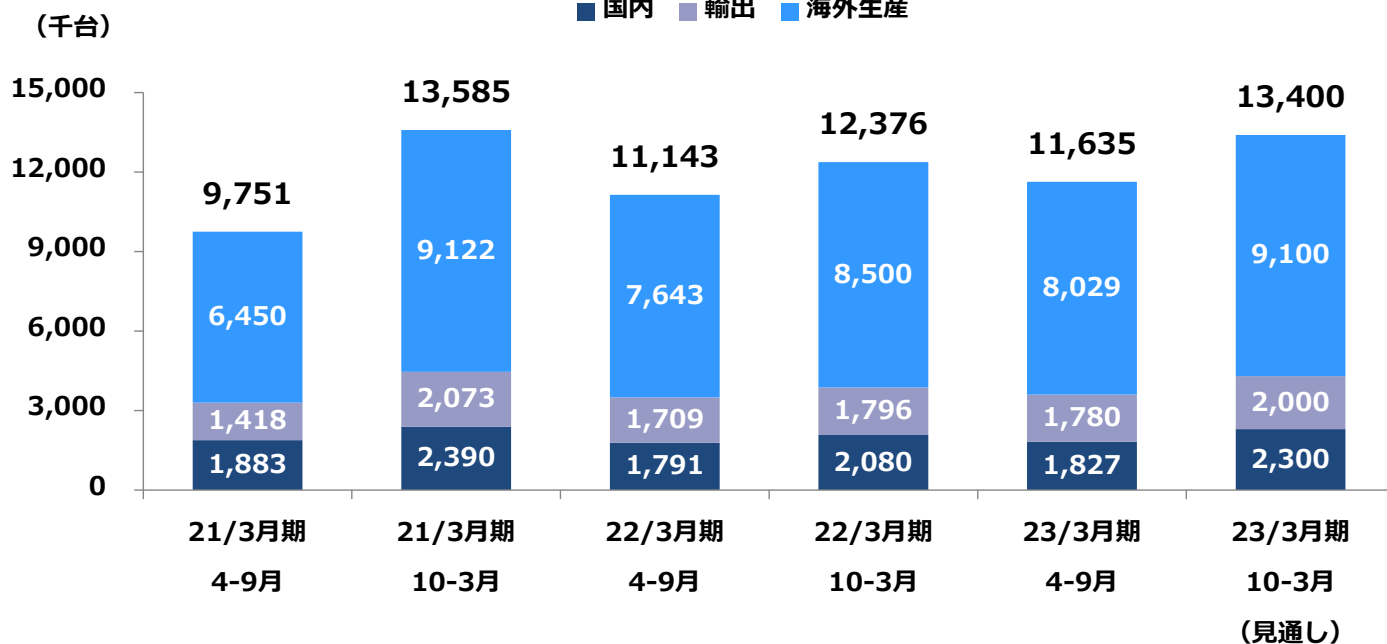


POINT ご紹介しました新しい製品群だけでなく、今後も世界中のお客様の声やニーズに基づき、技術に裏打ちされた新製品を開発していきます。そして、お客様にご満足いただき、かつe-Mobility産業の中で販売拡大していくことにより、カーボンニュートラル時代に向け貢献してまいります。

》 業種別市場動向：自動車生産台数推移（半期）

自動車生産台数

■ 国内 ■ 輸出 ■ 海外生産



※海外生産は、ロックダウン台数に海外で生産される完成車台数を付加したものです

出所：NOK推定

》》 NOK製品が使われている一般産業機械

POINT

一般産業機械分野では建設機械やロボットをはじめ、様々な分野に弊社製品が使われています。

建設機械



ロボット・工作機械



発電設備等



農業機械



工場・プラント設備



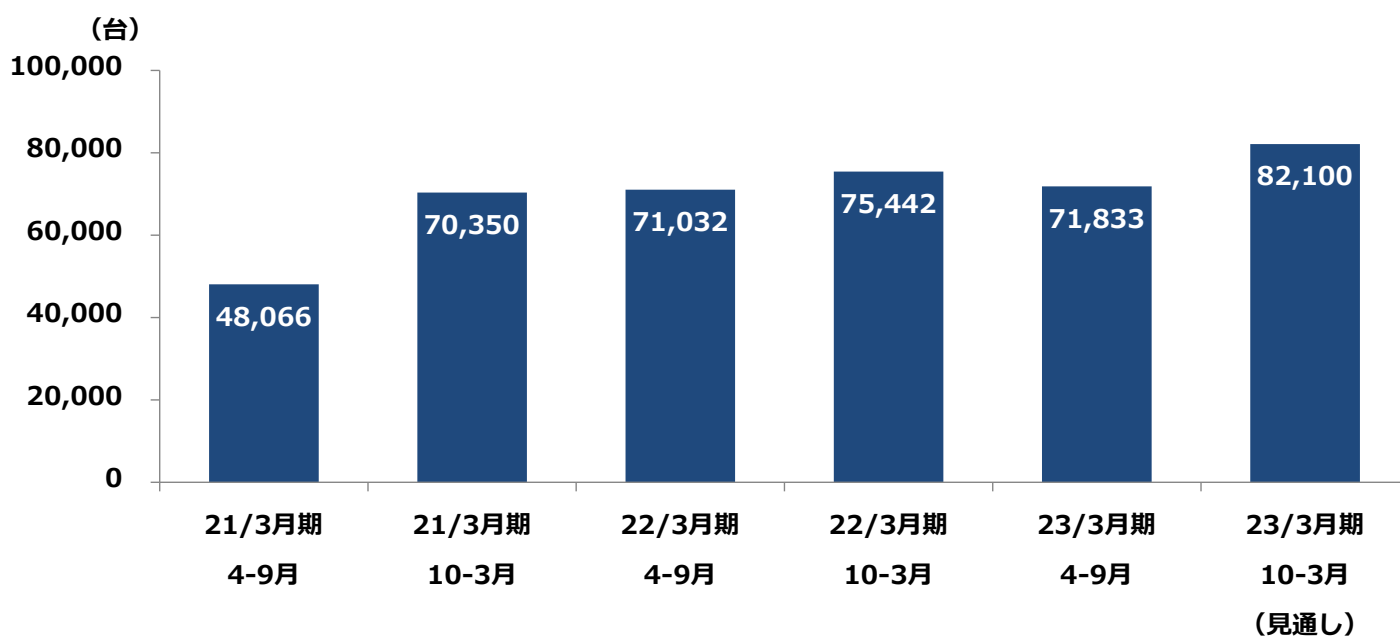
鉄道



47

》》 業種別市場動向：建設機械国内生産台数推移（半期）

建設機械国内生産台数



出所：NOK推定



48



POINT

世界でトップクラスのシェアを誇るフレキシブルプリント基板（FPC）は、最先端の電子機器に幅広く使われています。また、高度な技術によって作られた多層フレキシブルプリント基板（フレクスボード）は、情報電子機器の小型・高性能化に欠かせない存在となっています。

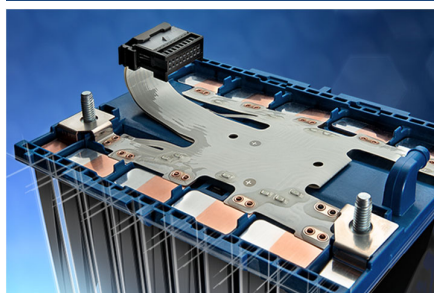
POINT

自動車の電子化、電装化により、フレキシブルプリント基板の用途が拡大しています。

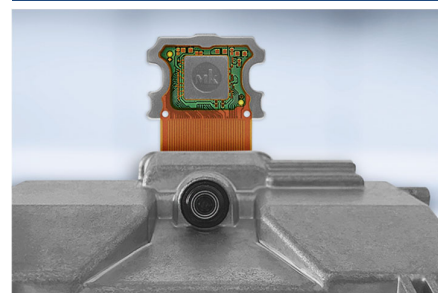
センサー



バッテリー



ADAS



ADAS: Advanced Driving Assistance Systems

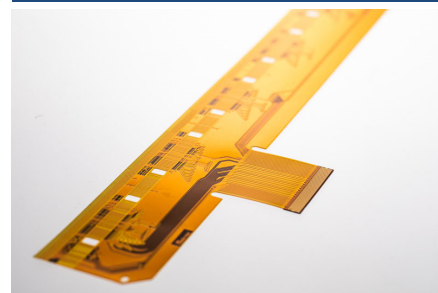
スイッチ



ライト

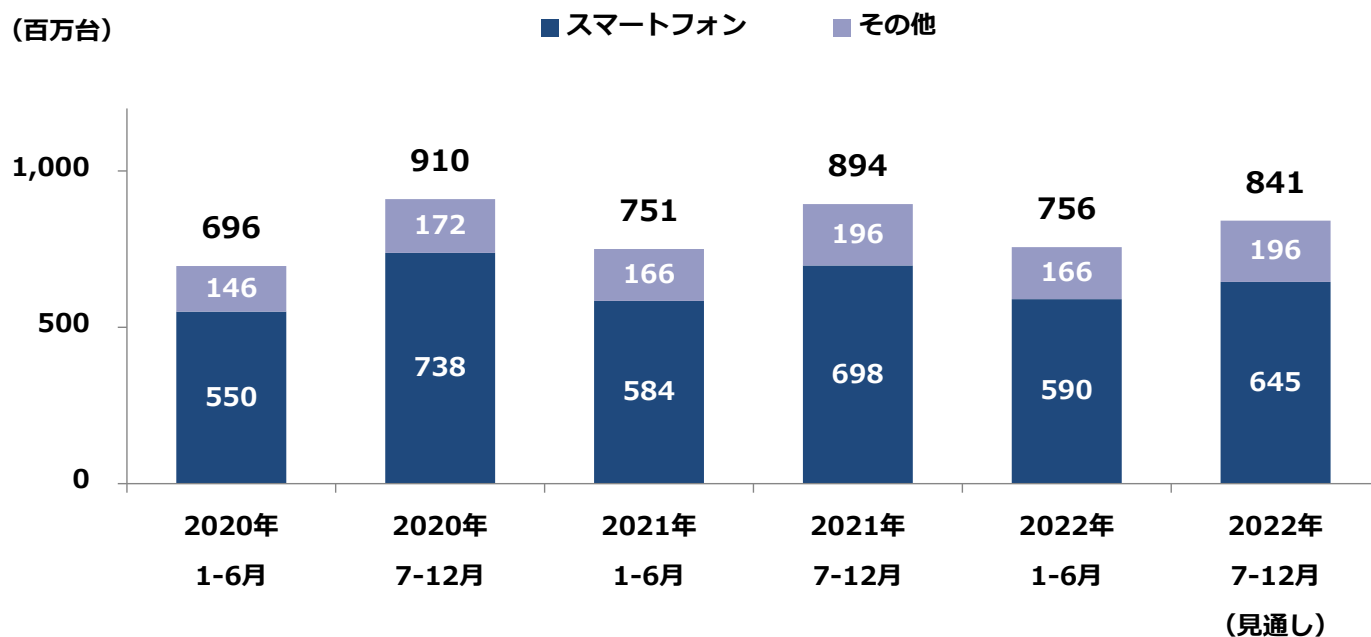


インフォテインメント



業種別市場動向：携帯電話出荷台数（半期・暦年）

携帯電話出荷台数



出所：NOK推定

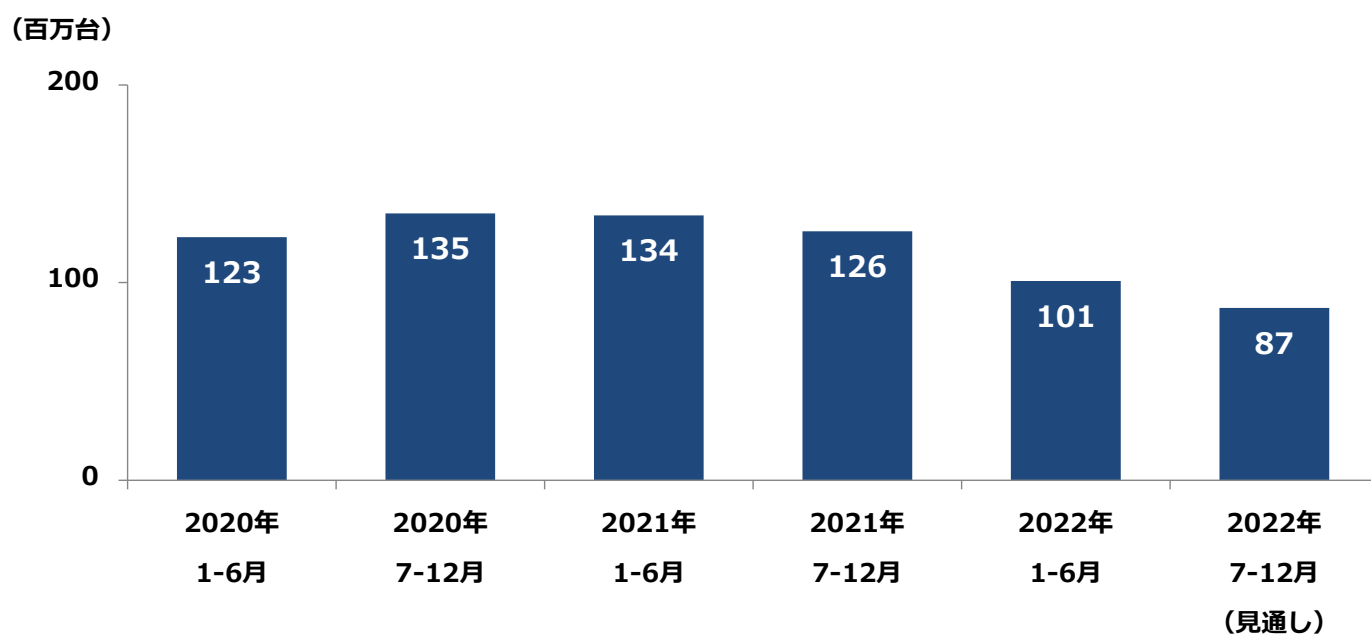


Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

51

業種別市場動向：HDD生産台数（半期・暦年）

HDD生産台数



出所：NOK推定



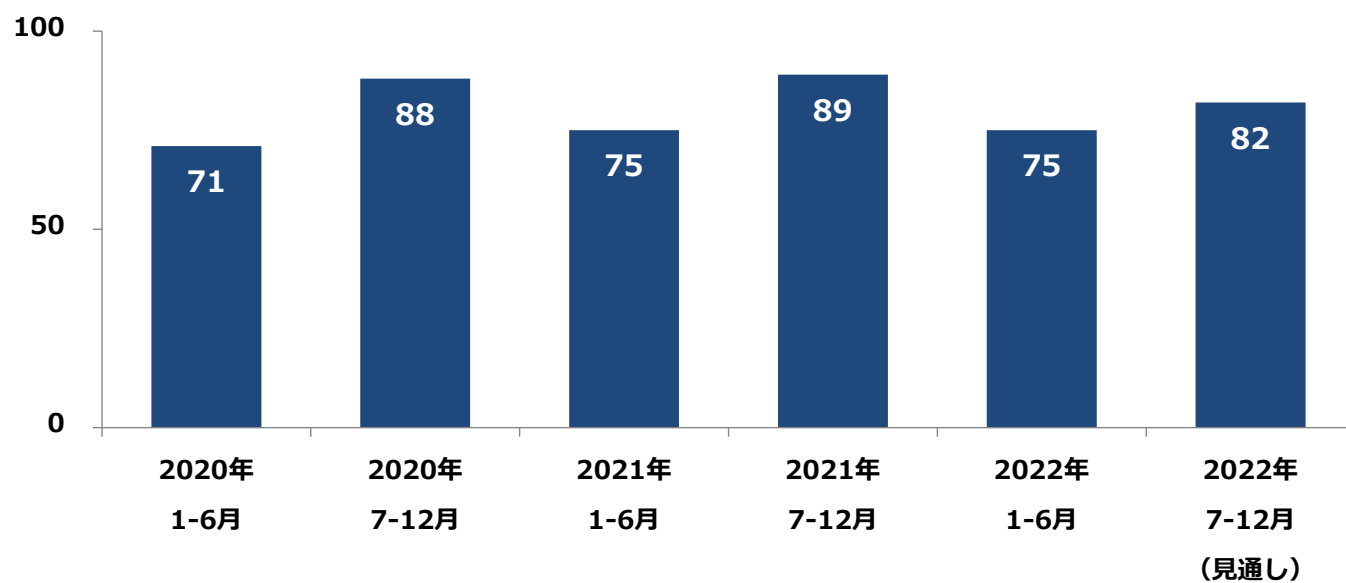
Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.

52



タブレットPC出荷台数

(百万台)



出所：NOK推定



Copyright (c) NOK CORPORATION All rights reserved.



セグメント(事業区分別)情報 2022年3月期実績、並びに2023年3月期見通し

NOK株式会社

(単位:百万円)

事業区分	項目	2022年3月期 実績			2023年3月期 見通し								
		上期	下期	通期	上期	前 年 同期比	伸び率	下期	前 年 同期比	伸び率	通期	前年 同期比	伸び率
シール	外部売上高	165,342	170,847	336,189	171,423	6,080	3.7%	193,119	22,272	13.0%	364,542	28,352	8.4%
	セグメント間売上	1,121	1,186	2,308	1,036	△84		1,228	41		2,265	△42	
	売上高	166,464	172,034	338,498	172,459	5,995		194,348	22,314		366,808	28,309	
	営業利益	18,257	17,224	35,482	8,715	△9,542	△52.3%	13,252	△3,972	△23.1%	21,968	△13,514	△38.1%
	利益率	11.0%	10.0%	10.5%	5.1%	△ 5.9pt		6.8%	△ 3.2pt		6.0%	△ 4.5pt	
	資本的支出	8,451	10,810	19,261	9,644	1,193		15,190	4,380		24,834	5,573	
	減価償却費	11,763	11,855	23,619	12,212	448		12,898	1,042		25,110	1,491	
	人員(生産性)(人)	21,080	20,996	20,996	21,114	34		21,422	426		21,422	426	
電子部品	外部売上高	146,096	174,846	320,942	166,622	20,526	14.0%	195,754	20,908	12.0%	362,376	41,434	12.9%
	セグメント間売上	10	6	17	7	△ 2		-	△6		7	△9	
	売上高	146,106	174,852	320,959	166,630	20,523		195,754	20,901		362,384	41,425	
	営業利益	△3,995	△1,044	△5,040	△3,412	583	-	3,412	4,457	-	0	5,041	-
	利益率	△2.7%	△0.6%	△1.6%	△2.0%	0.7pt		1.7%	2.3pt		0.0%	1.6pt	
	資本的支出	8,288	12,089	20,377	12,196	3,907		17,832	5,743		30,028	9,650	
	減価償却費	8,748	9,269	18,018	9,960	1,212		10,663	1,393		20,624	2,606	
	人員(生産性)(人)	14,754	14,548	14,548	15,373	619		15,226	678		15,226	678	
その他	外部売上高	12,930	12,445	25,375	14,724	1,794	13.9%	15,256	2,810	22.6%	29,980	4,605	18.1%
	セグメント間売上	263	260	524	267	3		332	72		600	75	
	売上高	13,193	12,706	25,899	14,991	1,797		15,589	2,883		30,580	4,680	
	営業利益	601	292	893	821	220	36.7%	509	216	74.1%	1,331	437	49.0%
	利益率	4.6%	2.3%	3.5%	5.5%	0.9pt		3.3%	1.0pt		4.4%	0.9pt	
	資本的支出	607	783	1,391	994	387		1,216	432		2,211	820	
	減価償却費	474	478	953	503	28		576	97		1,079	125	
	人員(生産性)(人)	2,001	2,069	2,069	2,059	58		2,085	16		2,085	16	
内部売上高の消去		△1,395	△1,454	△2,850	△1,312	83		△1,561	△107		△2,873	△23	
連結	外部売上高	324,368	358,139	682,507	352,769	28,400	8.8%	404,130	45,991	12.8%	756,900	74,392	10.9%
	セグメント間売上	-	-	-	-	-		-	-		-	-	
	売上高	324,368	358,139	682,507	352,769	28,400		404,130	45,991		756,900	74,392	
	営業利益	14,868	16,468	31,337	6,117	△8,751	△58.9%	17,182	713	4.3%	23,300	△8,037	△25.6%
	利益率	4.6%	4.6%	4.6%	1.7%	△ 2.8pt		4.3%	△ 0.3pt		3.1%	△ 1.5pt	
	資本的支出	17,346	23,683	41,030	22,835	5,488		34,239	10,556		57,074	16,044	
	減価償却費	20,986	21,604	42,591	22,676	1,689		24,138	2,533		46,814	4,223	
	人員(生産性)(人)	37,835	37,613	37,613	38,546	711		38,733	1,120		38,733	1,120	

※上記の見通しは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

※百万円未満を切捨て表示しています。